

すずかけ

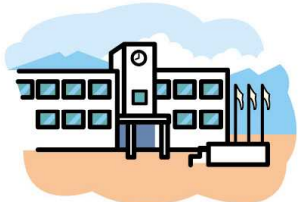
太田市立生品小学校

学校通信(文責：堀江)

No. 2

平成30年 4月13日

今年度の本校の教育について



今年度の本校の教育についての構想は、裏面に紹介してあるとおりです。その中で、特に昨年度とは異なる点について以下に紹介します。ご理解とご協力をお願いいたします。

一つ目は、学力の向上を目指した、5, 6年生における**教科担当制の導入**です。前号の「すずかけ」でも紹介しましたが、教員の専門分野や得意分野を生かしたり、授業準備の時間を確保したりして、子どもたちが「分かった」「できた」「楽しい」といった心はずむ学びがある授業づくりを進めていきます。また、教科ごとに教員がかわる中学校との接続を円滑にするといったねらいもあります。これにより、今まで3年生～6年生まで行っていた算数の少人数指導は実施しません。

二つ目は、人権教育総合推進地域事業の地域指定を受けたことに伴う**人権教育の充実**です。これは群馬県教育委員会から太田市が委託を受け、この生品地区が市教委から地域指定を受けました。そこで、生品小学校と生品中学校は人権教育研究推進校として3年間、人権教育の充実を目指した取組を進めていくこととなりました。子どもたちが、人を大切に、よりよい人間関係を築くことができるよう研究を進めていきたいと思えます。

三つ目は、**道徳教育の充実**です。校内研修でも道徳を中心に取り上げ、まずは授業の充実を図っていきたいと思えます。特に、今年度から全国的に、道徳は「**特別の教科 道徳**」として**授業が実施**されます。教科となって大きく変わる点は、道徳科となり教科書が配布され、教科書をもとに授業を行う点と、子どもたち一人一人に道徳科の評価が行われる点です。道徳科の評価は、「できる」「できない」または他の子どもとの比較ではなく、個々の心の成長についての評価を記述式で行います。

四つ目は、**英語の授業の充実**です。今年度から5, 6年生では、英語の授業が年間15時間増えて、50時間となります。北校舎2Fの「多目的室」は、今年度より「**英語室(イングリッシュ・ルーム)**」と名称を変え、3年生～6年生の外国語活動及び英語は、主にこの教室で行われることとなります。この部屋に入ったら、英語をたくさん話してほしいと思えます。

「全国学力・学習状況調査」が実施されます(4/17)



国の教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童 生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを主な目的として、全国の小学6年生、中学3年生を対象に実施されます。教科は国語と算数に加え、今年度は理科も実施されます。